

# Phanによる PHPコード静的解析

公開補訂版

ピクシブ株式会社  
うさみけんた @tadsan

# ！ お前誰よ



- うさみけんた (@tadsan) / Zonu.EXE
  - GitHub/Packagistでは id:zonuexe
- 2012年 自宅警備→ピクシブ株式会社
  - モバイルアプリ向けWebAPI開発とか
  - 今年の春からメンテナンスとしてチーム独立
  - 日常的なバグ修正から、アーキテクチャの改善  
リファクタリングやテストなどいろいろ！

！おしごと

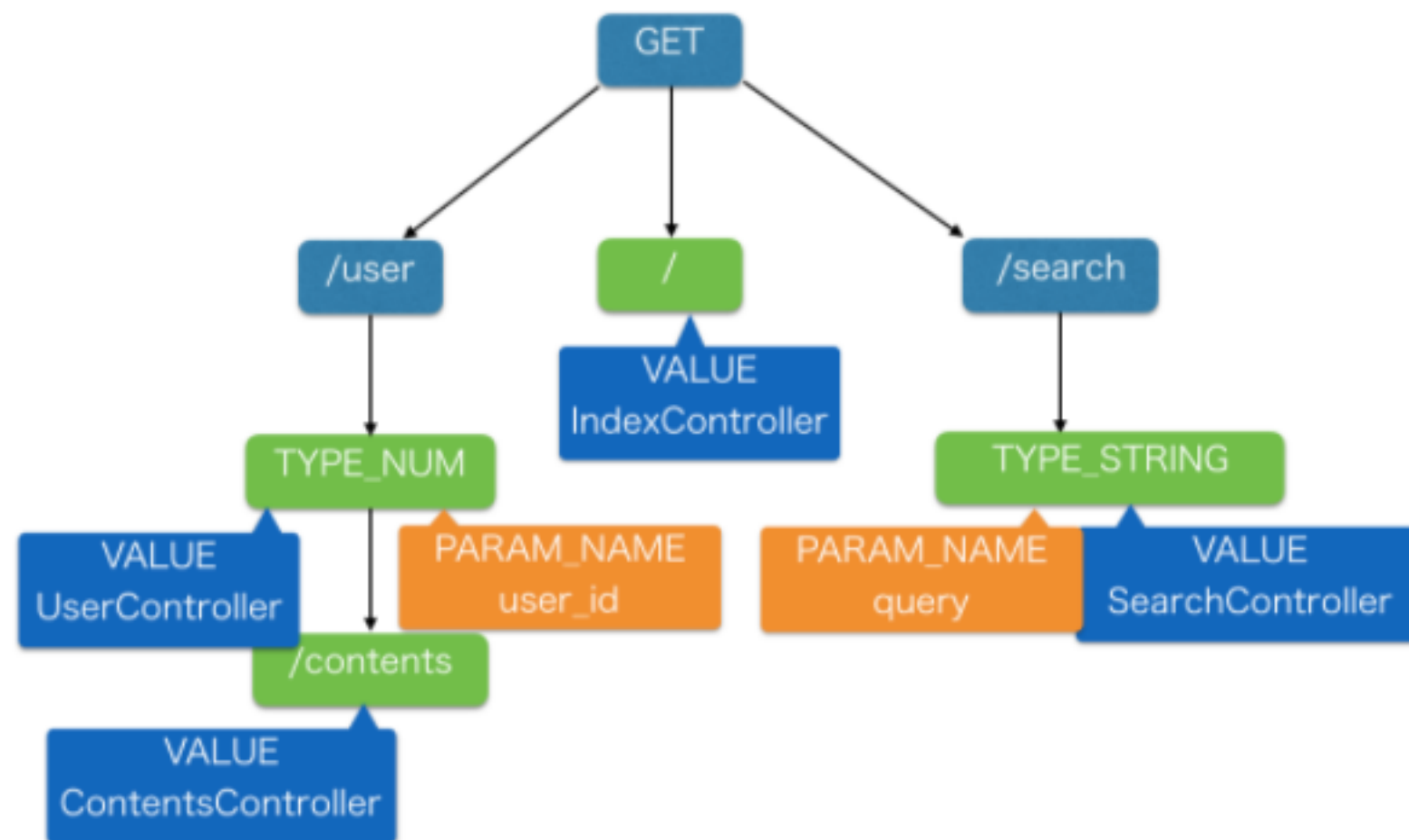
現実には動いている  
(ユーザーさんが利用している)  
サービスを破壊せずに  
コードの健全さを向上したい

# pixiv inside



2015-12-13

## PHPで高速に動作するURLルーティングを自作してみた



### pixiv insideとは

ピクシブの事業・サービスを支えている知識と舞台裏の今を発信しています。

創作活動を楽しむためのサービス開発のあらまし、多大なトラフィックを扱うインフラストラクチャーの裏側、長年積み重ねてきた運用ノウハウ、個性豊かなピクシブメンバーの日常など、知られざるピクシブの内側をお見せします。

✓ 読者です 150

### ピクシブで働きませんか？

ピクシブでは新卒・中途を問わず、技術で創作活動を楽しみたいエンジニア、デザイナー、総合職メンバーを募集しています。興味のある方はぜひ採用サイトからご応募ください！

そんなノウハウをギュッと詰め込んだ

# PHP大規模開発入門(連載中)



# | PHP大規模開発入門

- Vol.87: PHPDocでコードの品質を保つ
- Vol.91: 名前空間とオートローディング
- Vol.94: PHP初心者がハマりがちな落とし穴  
……型のキャスト, 変数とリファレンス
- Vol.95: PHPの静的解析  
……ドキュメントの生成, 問題箇所の発見



# | PHP大規模開発入門

- Vol.87: PHPDocでコードの品質を保つ
- Vol.91: 名前空間とオートローディング
- Vol.94: PHP初心者がハマりがちな落とし穴  
……型のキャスト, 変数とリファレンス
- Vol.95: PHPの静的解析  
……ドキュメントの生成, 問題箇所を発見



# おしながき

---

- PHPと型
- PHPDocとは何か
- Phanの紹介

# ! PHPと型

# 動的型検査

- プログラムを動かしながら(←動的)  
手すぐりで型を調べる(←型検査)

```
$a = 13; $b = "2";  
echo $a + $b;
```

- 「\$aの型はintだな、\$bの型はstring…  
だけど数字だから足しざんできるね！」  
……みたいな茶番を毎回やってる

# PHPの型

---

- 変数に型はないが、値が型を持つ
  - C言語みたいに `int id` のような定義はできない
  - `64` と `'A'` は厳然とした別の型の値
  - `'64' == 64` のような比較が成り立つ設計
- 関数は型宣言できる（ただし動的検査）

# I PHPの型の種類

---

- 整数(int) 浮動小数点数(float) 論理値(bool)  
文字列(string) 配列(array) リソース(resource)  
オブジェクト(object) ヌル値(null)
- PHP5ではarrayのみ宣言に記述できる
- 7.0ではint, float, string, boolが記述できる

# I 型宣言(PHP7)

PHP7の関数(メソッド・クロージャ含む)は、引数と返り値に型を定義することができる

**// PHP 5**

```
function trapezoid($h, $a, $b) {  
    return $h * ($a + $b) / 2;  
}
```

**// PHP 7**

```
function trapezoid(float $h, float $a, float $b): float  
{  
    return $h * ($a + $b) / 2;  
}
```

# 動的型検査の弱点

- プログラムを動かしてみないとわからない

```
$a = 13; $b = [];  
// 環境依存の分岐（本番環境じゃないと動かない）  
if (is_production()) {  
    echo $a + $b; // 検出できない  
    echo 1 + []; // ←これはPHP7で検出できるようになった  
}  
function f(): int {  
    return []; // これも検出できない  
}
```



! PHPDoc# とは何か

# | DocCommentとリフレクション

- 定義文(クラス・関数・メソッドなど)に付属する特別なコメント(`/** ~ */` の範囲)を実行時に文字列として取得することができる(DocComment)

```
/** ここはDocCommentだよ */  
function hoge() {  
}  
  
$ref = new \ReflectionFunction('hoge');  
echo $ref->getDocComment();  
// => "/* ここはDocCommentだよ */"
```

# | PHPDoc型注釈

DocCommentに型定義を注釈として記述する記法。  
PhpStormやPhanが解釈してくれる。

```
/**
 * @param float $h
 * @param float $a
 * @param float $b
 * @return float
 */
function trapezoid($h, $a, $b) {
    return $h * ($a + $b) / 2;
}
```

# | PhpStormの型表示



```
trapezoid(5, |);
```

**h : float, a : float, b : float**

# | PHPDocの型

---

- 基本はPHPの型かクラス名を書く
  - `callable`, `$this`, `self`, `static`, `void`なども有効
- 複合型 (Union/Multiple types)
  - 「`int`または文字列」 `int|string`
- 値が並んでるもの (配列/Collection)
  - 「`int`が並んでるもの」 `int[]`
- <https://zonuexe.github.io/phpDocumentor2-ja/references/phpdoc/types.html>

# なぜPHPDoc型注釈？

---

- いきなり実装コードに型定義を追加すると、いままで顕在化しなかったバグが発生するおそれ
- 不用意なキャストや型検査でエラー発生
- PHPDocはただのコメントなので、稼働中のコードの挙動を変更せず検査できる
- 現行のPHPの型定義以上の型付けを表現できる
  - 複合型やコレクション(array → int[])
  - PHP5で対応できない string, int など

# これだけ覚えて帰ってね

タグ名	意味	例
@param	引数を定義	@param int \$n1
@return	返り値を定義	@return int[]
@var	変数/プロパティを定義	@var int
@property	<u>マジック</u> プロパティを定義	@property int \$id

ふつうのプロパティは@propertyじゃなくて  
@varなので注意（Phanは@property未対応）



# ！ プロパティの例 (@var)

---

ふつうのプロパティの場合は @var を使って書く

```
final class Book {  
    /** @var string */  
    public $title;  
    /** @var \MyApp\Author[] */  
    public $authors;  
    /** @var \MyApp\ISBN */  
    public $isbn;  
}
```

# I プロパティの例 (@property)

拙作の zonuexe/objectsystem を使った場合

```
/**
 * @property string      $title
 * @property \MyApp\Author[] $authors
 * @property \MyApp\ISBN   $isbn
 */
final class Book {
    use \Teto\Object\TypedProperty;
    protected static $property_types = [
        'title'    => 'string',
        'authors' => 'MyApp\Author[]',
        'isbn'     => '?MyApp\ISBN',
    ];
}
```

# I 型注釈を使ったハック

複合型とコレクション(型の配列)を組み合わせる

```
/** @return Book[]|\ArrayObject */  
function getBooks() {  
    $data = hogehoge();  
    return new \ArrayObject($data);  
}  
  
$books = getBooks();  
$books->| // ここで \ArrayObject の補完が効く  
  
foreach ($books as $book) {  
    $book->| // ここで Book の補完が効く  
}
```

# ! Phanの紹介

# | Phanとは何か

---

- ハンドメイドマーケットを運営する  
アメリカのEtsy社が開発する静的解析ツール  
<https://github.com/etsy/phan>
- 現在PHP作者のRasmus Lerdorf が所属し、  
Phanの開発にも参加してる
- PHPの型定義と型注釈を両方見てくれる
  - ただし、@propertyと@method未対応

# | Phanの導入

---

- <https://github.com/etsy/phan/releases>  
最新のタグが付いてる .phar ファイルをダウンロード
- PHP7 と php-ast が必須
  - ただしラッパースクリプトを用意すれば、  
サービスがPHP7で稼動してなくても動かせる

```
#!/bin/sh
/path/to/php7/bin/php ${PHAN_BIN:-/path/to/bin/phan} "$@"
```

# | Phanの設定

- はじめにWikiから設定ファイルをコピーして、プロジェクトの `.phan/config.php` に保存

<https://github.com/etsy/phan/wiki/Getting-Started#creating-a-config-file>

```
// ディレクトリホワイトリスト
'directory_list' => [
    'src',
    'vendor/symfony/console',
],
// ディレクトリブラックリスト
'exclude_analysis_directory_list' => [
    'vendor/'
],
```



# | Phanの設定(その他)

---

- 'generic\_types\_enabled' => bool
  - @templateタグ(ジェネリックス)有効/無効
- 'suppress\_issue\_types' => string[]
  - 無視するIssueタイプを指定する
- 'plugins' => string[]
  - Phanプラグインを追加できる
  - サンプルとしてDollarDollarが添付されている
  - \$\$var (可変変数)を検出

# | Phan コマンド

---

- `-o, --output <filename>` 出力ファイル指定
- `-m <mode>, --output-mode` 出力形式
- `-x, --dead-code-detection` デッドコード検出
- `--backward-compatibility-checks` PHP7互換性
- `-j, --processes <int>` 並列実行数
- `-p, --progress-bar` 進捗バーを表示

```
./phan-wrapper -m csv -o phan.csv -x -j4 \  
  --progress-bar --backward-compatibility-checks
```

# | Phan 出力

---

- デフォルトの場合の出力

```
pixiv-lib/Illust/Common.php:738 PhanTypeMismatchArgumentInternal  
Argument 1 (month) is string but \checkdate() takes int  
pixiv-lib/Illust/Common.php:738 PhanTypeMismatchArgumentInternal  
Argument 2 (day) is string but \checkdate() takes int  
  
path/to/file.php:333 PhanTypeMismatchArgumentInternal This is message.
```

- PhanTypeMismatchArgumentInternal はIssueと呼ばれる
- Issueごとに出力するを制御可能(@suppressタグ)

# | Phan Issueいろいろ

---

- PhanParamTooFew / PhanParamTooMany
  - 引数が足りない／多い
- PhanParamTypeMismatch
  - 引数の型が間違ってる
- PhanRedefineClass / PhanRedefineFunction
  - 同名のクラス／関数がいくつも定義されてる

# | PhanUndeclaredClassCatch

---

存在しないクラスでキャッチしようとしてないか

```
// PHP 5
namespace MyApp;

try {
    foo();
} catch (RuntimeException $e) {
    // ↑ \MyApp\RuntimeException
} catch (\Exception $e) {
    // ↑ \Exception が正しい
}
```

# | PhanUndeclaredClassInstanceOf

---

存在しないクラスでinstanceofしてないか

```
namespace MyApp;

$e = get_error();
if ($e instanceof RuntimeException) {
    // ↑ \MyApp\RuntimeException
} elseif ($e instanceof \Excaption) {
    // ↑ \Exception が正しい
}
```

# | PhanTypeMismatchForeach

---

foreachできない値をforeachしようとしてる

```
$iter = null;  
// E_WARNING  
foreach ($iter as $i) {  
    echo $i;  
}
```



# | PhanTypeMismatchReturn

---

定義と違った型の値を返してる

```
/** @return void */  
function f() {  
    return null;  
}  
  
function g():int {  
    return [];  
}
```

# | PhanTypeMissingReturn

---

特定の型を返すべきだが、何も返していない

```
/** @return int */  
function g(){  
    return;  
}
```

# | PhanTypeVoidAssignment

---

実際にはnullが代入されるが  
voidは「データがない」を意味するので適切ではない

```
/** @return void */  
function g(){ return; }  
  
$result = g();
```

# | PhanNoopXXXX

---

無意味なコードを検出する

```
// 代入しない配列 PhanNoopArray  
[1, 2, 3];
```

```
// 代入も実行もしないクロージャ PhanNoopClosure  
function(){ return awesome(); };
```

```
// returnしていないので無意味 PhanNoopProperty  
class C {  
    public $p;  
    function f() { $this->p; }  
}
```

# | PhanDeprecatedFunction

---

廃止予定/非推奨のメソッドを利用。  
古い実装を新しいものに置換する際に  
@deprecated を付けておくと洗い出せてべんり

```
function newAwesomeFunc(){}  
  
/** @deprecated */  
function oldFunc(){}  
  
oldFunc(); // PhpStormは取り消し線を表示
```

# | Phan独自のアノテーション

---

@suppress <issue\_type>

クラス・メソッドなどの範囲でIssueを無効化する

```
/** @suppress PhanUndeclaredConstant */  
class C {  
    function f() { return AWESOME_CONSTANT; }  
    /** @supress PhanUndeclaredProperty */  
    function g() { return $this->p; }  
}
```

# | Phan独自のアノテーション

---

@template 型変数(ジェネリックス)

```
/** @template T1 */  
class Container {  
    /** @var T1 */  
    private $value;  
    public function __construct($value){ $this->value =  
$value; }  
    function getValue() { return $value; }  
}
```

# | Phanの制限

---

- `define()`関数での定数定義はサポートされない
  - 動的に定義されるため (`const`は静的)
  - Reference to undeclared constant 扱い
- `@method` には対応してない
  - `__call()` を使ったProxyパターン殺し



# | Phanのめんどくさいところ

---

- 重い
  - ファイル数にもよるが数十秒～ かかる
- 標準化されていないPHPDocに惑わされる
  - ・ PhanTypeMismatchReturn Returning type bool but insert() is declared to return \成功
  - ・ 「@return 成功 true 失敗 false」

# Phanの注意点

---

- メソッド／プロパティの動的定義に未対応
- `__get()`, `__set()`, `__call()`, `__callStatic()` など
- PHP用語としての「オーバーロード」  
<http://php.net/manual/ja/language.oop5.overloading.php>
- 定数の動的定義にも未対応
  - `define()` はだめ。 `const` 文ならOK。

# | Phanの比較対象(競合)

---

- 定番：PHP Mess Detector (PHPMD)
  - さまざまな指摘をしてくれるが、型検査はなし
- 似たサービスもいくつかある (private有料)
  - Scrutinizer, SensioLabsInsight, CodeClimate
  - これらコードの怪しい兆候を細かに教えてくれる
  - 型検査の精度ではPhanの方が良く見える

# まとめ

---

- PHPDocの型注釈は動作に影響を及ぼせずに型を宣言することができる
- Phanはソースコードを動作させずに解析できる
- Phanで静的解析することで、リファクタリングのリスクを減らすことができる
- 廃止予定の非推奨メソッドには `@deprecated` をつける習慣をつけると殲滅が捗る